

## <参加のおすすめ>

日本の人口は2006年に約1億3000万人になり、それをピークに減りつづけています。そして、2100年頃の総人口は、約6000万人になると予測されています。つまり今の半分の人口になるという計算になります。

一方、日本人の平均寿命はどんどん延びていて、高齢化社会はますます進んでいます。この現象だけ見ると長寿社会の到来として喜び合いたいところですが、それとは逆に子どもの出生数は、2010年が約120万人で、2015年頃には100万人を下回り、2050年頃には67万人になると予測されています。この現象は私達の予想をはるかに超えて少子化が進んでいることを裏付けています。この現象がこのまま進むと将来の日本はどうなっていくのでしょうか。

さて、今回訪問するカナダは建国当初より移民を受け入れていた国ですが、カナダ政府はカナダ人の子どもも、移民してきた子どもたちも、将来のカナダを担う宝物として育てるために様々な支援やサービスを提供しています。

課題としては、日本と同じような少子化現象がありますが、子どもの人権をしっかりと保障しながら、子育て教育に積極的に取り組んでいます。今回の研修では保育や幼児教育の子育て支援現場の実際を視察させていただき、日本の幼児教育に少しでもお役に立てればと願っています。

また、この様な事業を実施するには、現地のことに詳しい機関が必要不可欠な条件ですが、幸い私は、カナダのビクトリアに所在します。ヴィエック・インターナショナル(VIEC)共催により、今回の『カナダに学ぶ幼児教育現場の視察』の事業を実施することが可能となりました。さらにこの事業は現地の幼児教育に関わる専門機関並びに専門スタッフのご協力をいただいて実現したもので、普通の視察とは一味違う中身の濃いプログラムでご案内できるものと自負しています。また、ビクトリアは世界五大美観都市のひとつといわれており、フリータイム等を活用してのビクトリア市内や近隣の公園の散策をはじめ、ブッチャートガーデンの訪問や、現地の皆さんとの交流をさせていただくなど、ビクトリアの豊かな子育ての実際に触れると共に、カナダの自然を満喫していただきたいと思います。

この機会に、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

(ひの社会教育センター：元館長 中能孝則)



### ★訪問予定施設の紹介★

- ①ビクトリア大学(UVIC)のファミリーセンター  
(扶養家族のいる学生へのサポート)
- ②Queen Alexandra Center  
(病院、デイケア、精神的な病気を持つ子どもや、家庭に問題がある子どもが生活が出来る施設などがある)
- ③ファミリーデイケア  
(日本で言うママさん保育ですが、男性が自宅で運営している所が見学できます。大きな保育所よりも保育料が低く、よりアットホームな環境で自宅のすぐ側にあるという点も親にとって助かります)
- ④コミュニティセンター・チャイルドケア  
(その地域に住む家族へのサポート＝必要な時だけ子どもを預かってもらえ、料金は無料、又は\$1以上の寄付)
- ⑤コミュニティーセンター  
(地域の子育てに関わっている人たちが集まって、お茶を飲みながらカジュアルな雰囲気の中で相談しあい、情報交換する場)

## 『日本の豊かな自然と保育の良さに気がついた』

カナダでの研修への参加をおすすめいたします

浦野学園 すみれ幼稚園

副園長：浦野真沙子

Canadaの研修で感じたことは、何とんでもCanadaの実現力でした。2年前に訪問した時、「いつかこうしたいと思っている。」と話されていたことはすでに実現され、ハンディーを持った子どもたちの受け入れなど更なる課題に突入している状況であること。

重ねて、前回は最前線で活躍されていた方々から、次の世代へと受け継がれ、伝統の継承と文化の創造が見事なまでに進み、国が発展していく様子を体験させていただきました。

組織ごとの横のつながりや、組織内での役割や目的が明確にされ、やりがい・働きがいを感じていることが、目に見えてわかりました。Canadaの明確な課題と評価、それに対する実行力と克服力。見習いつつ、日本の豊かな自然と保育(保護されながらの教育)の良さに改めて気が付ける旅でした。

この研修を企画・実行していただいたカナダ子育て交流企画の中能さんをはじめ現地スタッフの皆さんに支えられたプログラムは他に例を見ないように思います。

ぜひ、多くの方にこの研修の素晴らしさを知っていただき、そして日本の幼児教育の大切さにあらためて気づくきっかけとなることを願っています。

また、このプログラムはホームステイで行われますが、私のつたない英語に耳を傾け、私が理解するまで答えてくれるなど、本当にあたたかく接していただいととても感謝しています。おかげで、何の不安も感じることなく楽しい毎日でした。

## <参加に当たって>

### ■現地費用に含まれるもの

日程表に記載された、現地での団体行動中の視察、移動のための乗り物料金、オプションを除く観光料金、ホームステイ料金、日程に記載されている食事代、視察・通訳料金、随行員費用。

### ■視察費用に含まれないもの

現地までの往復航空券、バンクーバー～ビクトリア間の定期リムジンバス料金、旅券印紙代、渡航手数料、成田空港をはじめ各地空港施設使用料、燃料サーチャージ、航空保安税、電話代などの個人的費用、現地へのお土産代等の共通費、現地での交流会の費用、傷害、疾病に関する医療費、飲み物・自由食の代金、オプションの代金。自宅から成田空港までの交通費。ホテルシングル料金。

### ■申し込み方法

申込書に必要な事項をご記入の上、社会教育交流企画へ申し込んでください。

その際申し込み金¥30,000(現地費用に充当)が必要になります。申し込み金をいただいた時点でこの視察への参加が成立するものといたします。なお、残金は実施1ヶ月前までに下記の口座へお振込みください。

### ■予約について

予約を希望される方は、メールか電話でご連絡下さい。

### <振込先>

郵貯銀行 普通預金  
店番 018 記号 10130  
番号 9393154  
加入者名:ナカヨク タカノリ

### ■取り消しについての払い戻し

お客様はいつでも次に定める取り消し料をお支払いいただいで今回の契約を解除することができます。視察開始日より起算して

60日前～31日前……参加費の20%  
30日前～14日前……参加費の30%  
13日前～07日前……参加費の40%  
06日前～前々日……参加費の50%  
前日……参加費の70%  
出発日当日……参加費の100%

### ■最少催行人数

参加者が4名に達しない場合は今回の視察を中止することがあります。その場合は、1ヶ月前までにお客様にご通知いたします。

### ■航空券の手配について

航空会社・便名は指定(中能と同行)バンクーバー空港集合。往復の航空券の手配のお手伝いをいたしますので、航空券の手配を希望され方はご連絡頂ければ準備いたします。※現地までの航空券は、エアーの都合により、カルガリー経由になることもありますので、あらかじめご了承ください。

(2025/2/26 作成)